

学校・保護者 共通理解用資料

いざというときに判断し、動ける力を！

緊急時児童引き渡しマニュアル 2025

豊後大野市立緒方小学校

2011年3月、東日本大震災の発生時には、避難した児童を無事に保護者に引き渡すことにたいへんな苦勞をした学校がたくさんあった。

- ①電話やメール等が不通となり、保護者との連絡が取れない状況の中、児童の安否を確認できない不安から、たくさんの保護者が自家用車で学校に押しかけ、道路の大渋滞を引き起こした。保護者は動きがとれず、結果的に引き渡しにたいへんな時間を要した。
- ②引き渡しのルールがつけられていなかったため、なかなか保護者が迎えに来ず、学校では、教職員が付き添い、集団下校で家に帰ってしまった。しかし、帰っても家に誰もいない家庭では、余震が続く中、児童がたいへん不安な思いで保護者の帰りを待っていた。
- ③震災当日、担任が不在であったため、担任外の教員が対応したが、保護者の顔がわからず、引き渡しに時間がかかった。
- ④引き渡しカード（名簿）に記載のない人が児童の引き取りに来たために、引き渡しをしなかった（児童も知らない人のため、不審者との区別ができなかった）。

こうしたことを教訓として、緊急時に保護者（引取者）に対して確実に児童・園児を引き渡すことができるように訓練を行う必要がある。

1. 引き渡しを行う緊急時のめやす

①地震

- 豊後大野市（大分県南部）において、震度5弱以上の地震が発生した場合
- 内閣府から大地震に対して「警戒宣言」が出された場合
- 通学路や家屋に損傷が見られ、下校が難しいと判断される場合
- 上記の理由等から、コミュニティバスの運行がなされない場合

②火災

- 校舎に激しい火災が発生した場合
- 居住している地区及び通学のため通過する地区に火災が発生し、下校が難しいと判断される場合
- 上記の理由等から、コミュニティバスの運行がなされない場合

③大雨・水害・土砂災害

- 大雨（大雨警報・土砂災害警戒情報・記録的短時間大雨情報・大雨特別警報発令）が継続し、下校が難しいと判断される場合
- 通学路の冠水、河川の氾濫、崖崩れ・地滑りの発生により、下校が難しいと判断される場合（発生が予想される場合を含む）
- 上記の理由等から、コミュニティバスの運行がなされない場合

④積雪

- 積雪のため通学路の安全が確認できず、下校が難しいと判断される場合
- 積雪のため、コミュニティバスの運行がなされない場合

⑤不審者の出没・容疑者等の逃走

- 緒方町内に不審者が出没し、実害が発生したり、児童に危害が及ぶ事態が予想される場合
- 豊後大野市内で容疑者・犯人等が逃走し、児童に危害が及ぶ事態が予想される場合
- 他の自治体から容疑者・犯人等が豊後大野市内に逃走し、児童に危害が及ぶ事態が予想される場合
- 大分少年院（三重町）に収容中の少年が脱走し、児童に危害が及ぶ事態が予想される場合

⑥その他

- 校長が引き渡しを必要と判断した場合
- 集団下校中の児童が危険を感じ、学校に引き返してきた場合

2. 引き渡しについての連絡手段

①通信手段（学校安心メール・電話）が使えるとき

○引き渡しを実施する場合は、原則、学校から連絡をする。学校安心メールを第1手段とし、学校から保護者宛に児童の引き取りを依頼する。学校安心メール未加入者は学級担任から電話連絡を行う。

②学校安心メールが使えないとき

○電話連絡。学級担任から保護者宛に児童の引き取りを依頼する。

③緒方小ホームページの更新が可能とき

○学校から保護者に向け、児童の引き取りを依頼する。

④豊後大野市音声告知端末が使えるとき（緒方支所への放送原稿は持ち込み、メール、ファックスで）

○学校から保護者に向け、児童の引き取りを依頼する。

⑤すべての通信手段が途絶し、連絡ができないとき

○保護者に事前に配付した「引き渡しを行う緊急時のめやす」をもとに、保護者（引取者）の判断で来校を待つ。保護者（引取者）の来校まで、児童は学校に待機させる。

○状況に応じて、学校の玄関等に、避難状況や引き渡し場所等を掲示する。

*震度5弱以上の場合には、学校からの連絡の有無にかかわらず「児童引き渡し」とする。

3. 引き渡しについての連絡内容

①事象・引き渡し理由説明

②引き渡し開始時刻

③引き渡し場所

④引き渡し場所への通行ルート

＜連絡内容例（学校安心メール）＞

件名：緊急！緒方小児童の引き渡し実施

本文：本日午前11時15分に発生した地震は豊後大野市で震度5弱を記録。児童の安全確保のため、本日の下校は保護者（引取者）への引き渡しとします。

引き渡し開始はこのあと午後1時30分から。

引き渡し場所は校舎1F各所（添付PDF参照）。

敷地内での混雑・事故、周辺道路の渋滞を避けるため、可能な限り徒歩で迎えに来てください。徒歩の場合、車に気をつけ、校舎1階の地区ごとの場所に向かってください。校舎内には上がりません。

車の場合は、緒方保育園職員出入り口側（首藤薬局側）十字路から入って体育館への渡り廊下の方へ向かってください。駐車場は、渡り廊下そば、校舎北側職員駐車場、プール南側、体育館南側とします。駐車の後、校舎1階の地区ごとの場所に向かってください。

児童引き取り後、車の方は来た道を戻らず、校舎北側（裏側）をまわり、プールの脇を通り、さいとう書店側校門から出てください。体育館南側に駐車した場合は高倉歯科医院側に出てください。

ご協力をお願いします。

4. 引き渡し場所への通行ルート

○車による渋滞・混雑を避けスムーズな引き渡しを行うため、保護者には可能な限り徒歩での来校をお願いします。

○車で来校の場合、次のような一方通行にする。居住地によっては遠回りになるところもあるがご理解をいただく。

【迎えに来るとき】

緒方保育園職員出入り口側（首藤薬局側）十字路から入って体育館への渡り廊下の方へ向かう（高倉歯科医院から保育園と体育館の間の道路からは入らない）。駐車場は、渡り廊下そば、校舎北側職員駐車場、プール南側、体育館南側とする。駐車の後、校舎1階の地区ごとの場所に向かう。

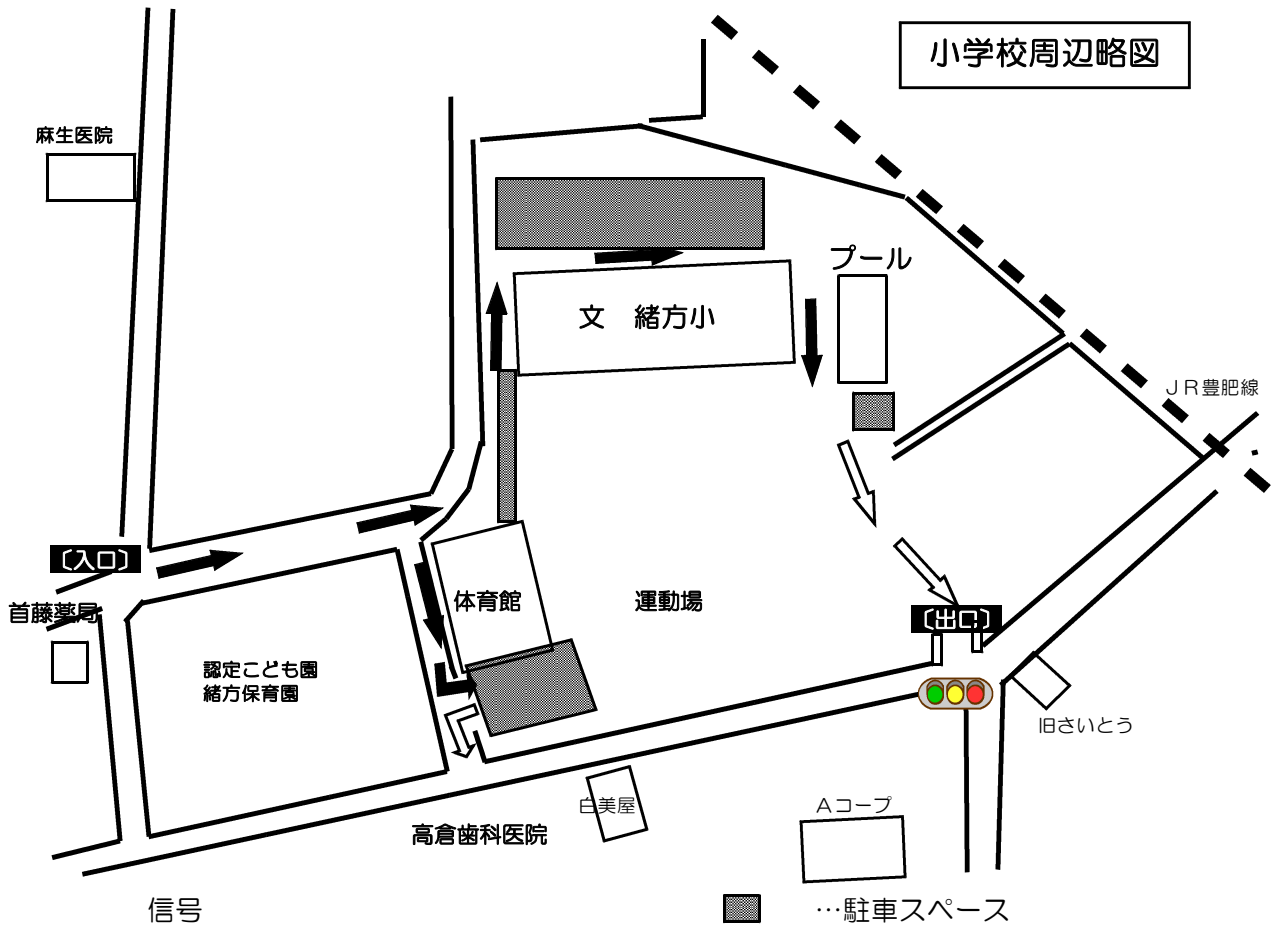
【引き渡し後】

来た道を戻らず、校舎北側（裏側）をまわり、プールの脇を通り、さいとう書店側校門から出る。

引き渡し時にはバリカー（車止め）を外す。

体育館南側に駐車した場合は高倉歯科医院側に出る。

○徒歩での来校の場合、特に通行ルートは定めない。



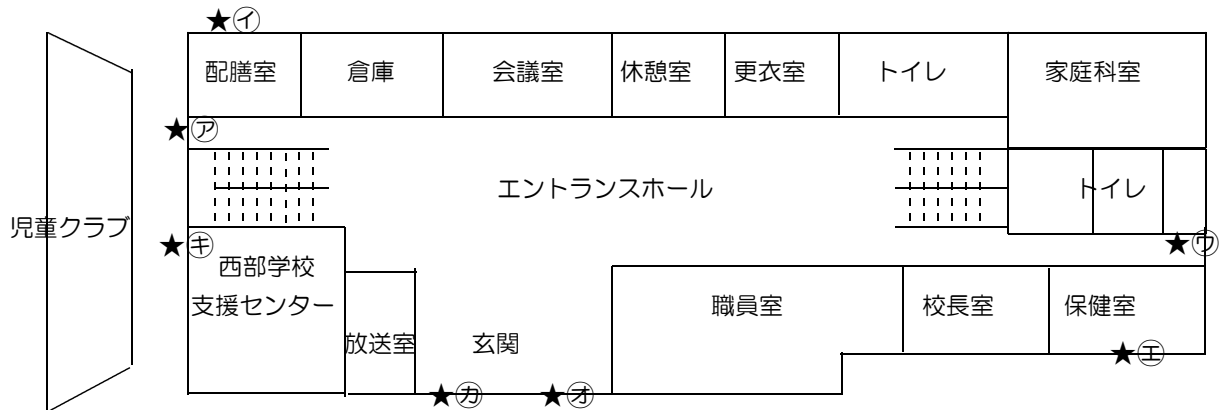
5. 引き渡し場所

① 緒方小校舎1階（地震の場合は安全を確認後）

○「雨が降っている」「3時間以内に降水の可能性がある」「低温・高温である」「積雪がある」「日没まで3時間未満」などの場合。

記号	地区	引き渡し場所
㊦	軸丸・上自在	職員出入口（児童クラブ側）
㊧	上緒方・小富士	配膳室（給食車寄り付き側）
㊨	馬場	東側出口（プール横）
㊩	下自在	保健室運動場側出口
㊪	越生・井上・野尻	正面玄関東側
㊫	原尻・久土知・鮎川・知田	正面玄関西側
㊬	大化・天神・馬背畑・平石・上犬塚・長谷川	西部学校支援センター出入口

<駐車場側>



<運動場側>

②緒方小学校体育館（地震の場合は安全を確認後）

○校舎が使用できないと判断した場合など。

（保護者入口は運動場側の1か所のみ、出口は南側の1か所のみ）

（児童は靴をビニール袋に入れて持っていく。引き取り者も靴をビニール袋に入れて持ってくる）

③緒方小学校運動場

○「雨が降っていない」「3時間以内に降水の可能性がない」「地震が発生した」「校舎が火事になった」「低温・高温ではない」「積雪がない」「日没まで3時間以上ある」などの場合。

（職員の誘導または案内表示に沿って整列する）

6. 引渡しの流れ

流れ	児童○・教職員■	保護者等（引き取り者）
引渡し場所の選定	引渡しを行う緊急事態発生	
引渡しについての連絡	<p>○各学級にて帰りの準備をする</p> <p>■次の3点を指導・確認する</p> <p>1)緊急事態への対処法</p> <p>2)子どもだけでの外出はしない</p> <p>3)引き渡し方法…「この人は誰ですか？」 →「お母さんです」</p>	<p>●安心メール、電話、ホームページなどを通して「引渡し」があることを知る</p> <p>●車による渋滞・混雑を避けスムーズな引渡しを行うため、保護者には徒歩での来校を呼びかける（大雨・暴風時を除く）</p>
移動	<p>○6年生全員、5年生以下の各地区長から移動（放送等による指示あり）</p> <p>靴を持って引渡し場所に移動</p> <p>○5年→4年→3年→2年→1年の順に移動（放送等による指示あり）</p> <p>■役割分担のもと各自配置につく</p> <p>○来た順に整列。きょうだいがいる場合は長子の横に並ぶ</p> <p>○静かに待つことの徹底</p> <p>■地区担当は、集合した児童を地区児童名簿でチェックする</p>	<p>●車の乗り入れについては職員の指示に従い、自己判断のみで進入しない</p> <p>●指定の引渡し場所に行く （体育館の場合、児童の入場完了後に引取り者が入る） （体育館の場合、靴はビニール袋に入れ、持って入る）</p> <p>●地区名を表示した各出口に並んで待つ</p>
引取り者確認	<p>■「児童引渡し緊急連絡カード（学校控え）」の引取り予定者の名前と、引取り者名が一致しているか確認</p> <p>■引取り予定者の名前と一致しない場合は引渡しができない旨を伝える</p> <p>■一致していれば担当者は児童を呼び、引取り者と顔を合わせる</p>	<p>●地区担当の職員に「長子児童の学年と名前」「児童から見た引取り者との関係」「引取り者の名前」を伝える</p> <p>㊦「3年の△△〇〇の母です。私は△△◇◇です」</p> <p>*速さよりも確実な引き渡しが必要です。で時間がかかることはご容赦ください</p>
引き渡し開始	<p>■「この人は誰ですか？」と児童に聞く</p> <p>児童が「㊦お母さんです」と答え、申し出た内容と一致すればそのまま引き渡しを行う</p> <p>■一致しない場合は引渡しができない旨を伝える</p> <p>■避難場所・帰宅場所を訪ね、自宅と異なる場合は「緊急連絡カード」に記入する</p> <p>■引渡しが終わった担当者は、「緊急連絡カード」に引渡し日時、引取り者番号、教職員名を記入する</p> <p>また地区名簿に引渡し完了児童をチェックする</p> <p>■混雑が予想されるが、順番に慎重に行う</p>	<p>●自宅と異なる場所に避難・帰宅する場合は担当職員に告げる</p> <p>●引取りが終了したら帰路につく</p> <p>●敷地内は混雑が予想されるので車の運転には十分注意し、教職員の指示に従って進行する（教職員が誘導につけない場合もある）</p>
確認再連絡	<p>■引き渡しができない児童は学校に残す</p> <p>■引き取りのない家庭への再連絡を試みる</p>	<p>●引取り者が保護者ではなかった場合、その保護者は児童と対面を果たしたら学校へ連絡する（電話が使用可能な場合）</p>

7. 職員の役割分担

役 割	担当者	当日変更後
全体指揮	校長	
メール配信・電話対応	教頭	
㊦軸丸・上自在		
㊧上緒方・小富士		
㊨馬場		
㊩下自在		
㊪越生・井上・野尻		
㊫原尻・久土知・鮎川・知田		
㊬大化・天神・馬背畑・平石・上犬塚・長谷川		
けが・メンタル対応	養護教諭（SC）	
児童支援	（援助員）	
車両誘導	西部学校支援センター職員	

8. 「児童引渡し緊急連絡カード」の提出

- ①円滑かつ安全な引き渡しのために「児童引渡し緊急連絡カード」を使用する。
保護者は小学校1家庭につき1枚のカードを記入する。
- ②緊急連絡先の1番には保護者を記入，2番には保護者または引き取りに来る可能性が高い方の連絡先を記入する。
- ③引き取り予定者の欄には，可能性が高い人から順に記入する。引き取り者が保護者以外の場合は，緊急時には引き取りを依頼することを確認しておく。また，保護者以外の引き取りは，児童が名前か関係を言える人にする。
- ④「児童引渡し緊急連絡カード」について，新1年生は入学説明会のときに配付し入学式までに回収する。カードは1年間使用し，毎年新しいカードをつくりなおす。年度末に配付・回収を行う。また，児童が6年生のみのカードは卒業後3月末日までに，1～5年生が含まれたカードについては次年度新しいカードが提出された後に廃棄処分する。